

# 平群

Heguri

≡ 議会だより  
7月臨時会・9月定例会

No.293

令和5年11月1日

発行:奈良県平群町議会

## 第5回臨時会(7月)・第6回定例会(9月)

|             |        |
|-------------|--------|
| 議決結果・質疑あれこれ | …P2～4  |
| 決算審査特別委員長報告 | …P5～8  |
| 町政を問う! 一般質問 | …P9～13 |
| 町の話・お知らせ    | …P14   |

平群中央公園



平群北公園



待望の大型遊具!!のんびり遊べる公園で楽しもう

# 第5回臨時会・第6回定例会 こんなことが決まりました

第5回臨時会が7月13日に開催され、一般会計補正予算案が上程され、審議・採決しました。

第6回定例会は9月5日～22日まで18日間の会期で開かれました。

初日は、町長提出の16案件が上程され審議。このうち5件は即決し、昨年度決算認定案件11件は決算審査特別委員会（6日、7日）に付託して審議しました。

一般質問は13・14日に行い、8名の議員が様々な町政課題について質問・提言しました。

最終日は、決算審査特別委員会の審査結果報告をうけて採決を行いました。また、議員発議2件、意見書1件が上程され、審議しました。



## 議決結果賛否一覧

○賛成 ●反対 \*欠席 ※議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します

| 提出区分         | 議案名                                                | 議決結果 | 関順子 | 須藤啓二 | 岩崎真滋 | 長良俊一 | 山本隆史 | 稲月敏子 | 植田いずみ | 山口昌亮 | 井戸太郎 | 森田勝 | 馬本隆夫 | 山田仁樹          |
|--------------|----------------------------------------------------|------|-----|------|------|------|------|------|-------|------|------|-----|------|---------------|
| （町臨時会）<br>町長 | 【7月臨時会】<br>令和5年度平群町一般会計補正予算（第4号）について               | 原案可決 | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ※             |
| 町長提出議案       | 専決処分の承認を求めることについて<br>（令和5年度平群町一般会計補正予算（第5号）について）   | 原案承認 | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ※議長は採決に加わりません |
|              | 平群町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について       | 原案可決 | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |               |
|              | 令和5年度平群町一般会計補正予算（第6号）について                          | 原案可決 | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |               |
|              | 令和5年度平群町介護保険特別会計補正予算（第1号）について                      | 原案可決 | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |               |
|              | 人権擁護委員候補者の推せんにつき意見を求めることについて                       | 原案承認 | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    |               |
|              | 令和4年度平群町一般会計歳入歳出決算の認定について                          | 原案認定 | ○   | ●    | ○    | ○    | ○    | ●    | ●     | ●    | *    | ○   | ○    |               |
|              | 令和4年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について               | 原案認定 | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | *    | ○   | ○    |               |
|              | 令和4年度平群町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について                    | 原案認定 | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | *    | ○   | ○    |               |
|              | 令和4年度平群町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について                  | 原案認定 | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | *    | ○   | ○    |               |
|              | 令和4年度平群町学校給食費特別会計歳入歳出決算の認定について                     | 原案認定 | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | *    | ○   | ○    |               |
|              | 令和4年度平群町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について                      | 原案認定 | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | *    | ○   | ○    |               |
|              | 令和4年度平群町奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について                  | 原案認定 | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | *    | ○   | ○    |               |
|              | 令和4年度平群町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について                   | 原案認定 | ○   | ●    | ○    | ○    | ○    | ●    | ●     | ●    | *    | ○   | ○    |               |
|              | 令和4年度平群町用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について                  | 原案認定 | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | *    | ○   | ○    |               |
| 議員提出議案       | 令和4年度平群町水道事業会計決算の認定について                            | 原案認定 | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | *    | ○   | ○    | ●             |
|              | 令和4年度平群町下水道事業会計決算の認定について                           | 原案認定 | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | *    | ○   | ○    |               |
|              | 平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について（発議第5号） | 否決   | ○   | ●    | ○    | ○    | ●    | ●    | ●     | ●    | *    | ○   | ○    |               |
| 議員提出議案       | 平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について（発議第6号） | 否決   | ●   | ●    | ●    | ●    | ○    | ●    | ●     | ●    | *    | ●   | ●    | ※             |
|              | 「健康保険証」の継続を求める意見書（案）                               | 否決   | ●   | ○    | ●    | ●    | ●    | ○    | ○     | ○    | *    | ●   | ●    |               |

# 質疑あれこれ

9月議会に上程された  
議案及び質疑を紹介します。

## 主な質疑

### 質問

毎年予算計上している定期的な焼却炉の修繕費と今回突発的に補修工事が必要となった状況と原因について。

### 答弁

当初予算は3千万円、突発的に必要となった工事は、日常の点検中に炉壁が落ちていたことが原因。

### 質問

焼却炉がいつ壊れるかわからない状況の中、ごみ処理の助け合いや今後の広域化についてどのように考えているのか。

### 答弁

ごみ処理の単価は受託先の各自治体で決められている単価を基準に考えていく。但し、多量のごみを長期間にわたリ受け入れてもらうとなれば、プラスチックでフェニックスの処理費といった部分もかかってくるかと考えている。各自治体での助け合いは全体的に整っていないことから、今回のような事態が再発した場合、独自で他の自治体に協力を求めている。

また、現段階でごみ処理の広域化については、近隣の自治体と協力していく方向で動いている。

るが、時期や処理単価等、まだ公表できない状況である。

## 平群町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

この条例は国の実施要綱が改正され、放課後児童支援員の資格要件である認定資格研修の取扱いの見直しが行われ、所要の規定整備を行うもの。

## 主な質疑

### 質問

放課後児童支援員の町の現状と資格者数は。

### 答弁

町内には3学童保育所があり、職員が20名、そのうち14名が認定資格を持っており、今後は、残りの6名が受講資格を得て、研修を受講し、認定資格を取るという流れになっている。

## 令和5年度一般会計補正予算(第6号)

歳入で主なものは、人事異動等に伴う人件費の調整、社会福祉費で4年度低所得者保険料軽減の確定に伴う介護保険会計繰出金の増額、障害者福祉費で4年度給付実績に伴う償還金の増額、老人福祉総務費で人材派遣型企業版ふるさと納税制度を活用した人材派遣1名分の予算措置、児童福祉総務費で4年度事業実績に伴う償還金の増額、旧人権交流センター運営費で解体工事に伴うアスベスト調査の事業・業務委託料の増額、予防費で新型コロナウイルスワクチン接種事業における予防接種健康被害救済制度の認定に伴い、予防接種被害補償金の予算措置を行う。公債費では、財政健全化の取組みとして繰上償還の予算措置を行う。

歳入で主なものは、今年度算定額の確定に伴う個人住民税減収補てん特例交付金、普通交付税及び臨時財政対策債の調整をそれぞれ行う。国庫負担金では、衛生費国庫負担金で予防接種健康被害救済に係る新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金の予算措置を行う。繰越金で4年度決算確定に伴う

前年度繰越金の増額を行う。雑入で人材派遣型企業版ふるさと納税制度に伴う人件費負担金の予算措置を行い、過年度収入で4年度介護保険低所得者保険料軽減の確定に伴い国庫負担金過年度収入の予算措置を行う。町債では、教育債で旧人権交流センター除却事業債の増額を行う。

歳入超過分については、財政調整基金繰入金の増額により収支の均衡を図る。

その結果、3億3910万1千円を追加し、歳入歳出予算総額は78億2602万5千円となる。次頁へ続く

☆7月臨時会、9月定例会初日の議案審議の詳細は、下記のQRコードから、議会中継にてご覧になれます。



7月臨時会



9月定例会(初日)

## 主な質疑

### 質問

ここ3年間で約9億円の繰上償還を行っているが、来年度以降も続けていく考えなのか。

### 答弁

今後必要となってくる大型事業である中学校の大規模改修、新庁舎の建設のほかに清掃センター等の老朽化していく公共施設の状況を見据え、事業実施にあたっては地方債の発行が必要であり、さらに長期の金利動向も現在上がってきていることもあるため、今後はこのような状況を見据えた上で繰上償還については検討したい。

### 質問

地方債残高の目標値は。

### 答弁

緊急財政健全化計画では、5年度末の目標値を130億円以下と定めている。

### 質問

新型コロナウイルスワクチンの接種被害補償金148万4千円の内容は。

### 答弁

令和3年9月にワクチン接種された2名の方の補償金。治癒するまで補償することになっているが、1名の方は4

年度まで症状が続いていたが、現在は治癒されている。

接種被害にかかる治療費は保険対応になっており、残り自己負担部分を給付する制度となっている。

### 質問

旧人權交流センター解体工事にかかる予算と今後のスケジュールについて。

### 答弁

当初予算で解体工事の設計見直し業務と周辺家屋の事前調査、また敷地の登記の整理業務を計上している。今回の補正でアスベスト調査を12月末までに終わらせ、新年度には解体工事の予算を計上し、6年度中

には解体工事を終わらせたいと考えている。

## 令和5年度介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳出で主なものは、基金積立

金では、介護給付費準備基金積立金で4年度介護給付費等の精算に伴う積立金の増額を行う。

償還金及び還付加算金では、償還金で4年度介護給付費等の確定に伴う国県負担金等に係る償還金の増額を行う。

歳入で主なものは、県負担金では介護給付費県負担金で4年度介護給付費等の確定に伴う負担金の増額を行う。一般会計繰

## 議会の動き

### 議会運営委員会

※令和5年平群町議会第6回定例会の議会運営について

8月21日

### 総務建設委員会

※執行後における政策評価について

8月29日

### 文教厚生委員会

※執行後における政策評価について

8月29日

## ◆ 先進地視察研修 ◆

### 子育て支援策について 兵庫県加西市を視察

10月3日（火）町議会議員、担当職員、議会事務局職員の15名で、兵庫県加西市へ日帰りの行政視察を行いました。

子育て支援（5つの無料化）施策についての取組やその成果、また今後の課題など丁寧に説明していただきました。



加西市議会議場にて

## 主な質疑

### 質問

今年度は介護保険第8期の最後の年だが、今年度の収支見込みについて。

### 答弁

計画通りの給付で、9割後半ぐらいで推移している。残り約半年間あるが、その分を推計したとしてもほぼ計画通りに推移する見込み。

# 令和4年度 各会計 決算審査特別委員長報告

## 一般会計

### 《歳出全般》

**質問** 電気使用量が前年度比0.5%増に対し、電気料金は26%増、一昨年より69%増となった。エアコンが必要不可欠の中、電気代抑制対策は。

**答弁** 以前は新電力導入で公共施設の高圧電力を入札し、電気代削減を図っていたが、電力市場価格の高騰により新電力事業者が撤退し、関西電力との契約に替わり、3年度は大幅に電気料金が上昇した。4年度は燃料価格の高騰により全体で約3千万円増加している。節電の徹底を図り、電気料金の削減に努めたい。

### 《議会費・総務費》

**質問** 人口動態推移の分析を踏まえ、今後の施策の展開は。

**答弁** 生産年齢人口の増加が年少人口の増加につながることから、子どもを出産し、住宅購入を検討されている20代の新婚世帯を増加させるため、5年度で移住支援事業、結婚新生活支援事業等に取り組んでいる。また、住宅ストックが必要なため、空き家の実態調査・利活用に向けたアンケート調査を実施予定。今後も先進地事例等を情報収集し、活用できる補助金を調査しながら町に見合う事業に取り組んでいきたい。

**質問** 防災無線が聞こえにくい地域の改善策は。

**答弁** スピーカーの角度を変えると別の地域で聞こえにくい状況が出ることから、メール配信システムや専用ダイヤルの電話応答システムを案内している。

### 《民生費》

**質問** 新型コロナウイルス感染症の影響により生活困窮状態にある子育て世帯を中心とした見守り強化事業について、国の補助金の動向と、事業の効果は。

**答弁** 補助金は、国から通知がないので今後も変わりないと考えている。生活困窮状態の方には生活保護や生活福祉資金等へつなぎ、精神的に不安定な保護者の家庭には、保健師と連携し、見守り継続で状況が改善した家庭も増えていることから、意味のある大切な事業と考えている。

### 《衛生費》

**質問** 一般廃棄物の処理基本計画と実績から、家庭ごみ排出量の目標値と、キエーロの普及によるごみ減量化計画への反映は。

**答弁** 1人1日の排出量は中間の8年度は621g、最終の14年度は550gとして目標を達成したい。生ごみ処理機やキエーロの普及促進に努め、今後はキエーロ使用者にアンケート調査を行い、約8千世帯のうち4分の1まで公費でキエーロの普及を目標とし、生ごみ量を約200トン削減したい。

**質問** リサイクルステーションの紙ごみ回収量は。

**答弁** 役場（中央）は4年度107トン、北部は4年10月から5年3月までで22トン、南部は5年1月から3月までで6トンあり、ごみ減量効果があった。

### 《農林水産業費・商工費》

**質問** 6次産業の加工場ができれば地元で雇用が生まれる。町出資で会社を立ち上げ、商品ができれば、広く流通するよう中期的に考えることが大事。町の考えは。

**答弁** 近大農学部と産学官連携により特産品を開発し、ジェラートの加工品や日本酒等の特産品を販売している。特産品は利益を上げるのではなく、町へ愛着を持ち、関わりを持つってもらうことで関係人口の増加につなげ、将来的な展開を期待している。農業者が製造・加工する体制ではないが、道の駅が商品開発のノウハウのある業者と連携し、更なる販売促進につなげている。町の役割は農業者に新商品開発や加工販売を支援することと考えているが、6次産業の看板も含めて検討していきたい。

### 《土木費・消防費》

**質問** 道路新設改良費で不用

額が多い要因は。

**答弁** 橋梁点検業務の入札差金で600万円、工事請負費で国庫補助金の削減等による工法の見直しや範囲の変更、入札差金、愛護デー未実施、住民との調整による工事の先送りで2300万円、所有者の同意が得られず公有財産購入費の不執行があったが、予定していた工事、業務等は実行できた。

**質問** 消防水利弱点地域は解消したのか。

**答弁** 平成28年に年次計画をつくり、その後改定したが、予算の都合で計画に沿って実施できていない。弱点地域は春日丘、上庄、緑ヶ丘、椿井、福貴団地。4年度に消火栓老朽化による修繕を初香台、西宮、西向で実施した。

### 《教育費》

**質問** 発掘調査は国県の補助金が4分の3、一般財源が4分の1の事業。長らく実施していないことから、学芸員を複数配置し、計画を立てて調査しては。

次頁へ続く

**答弁** 一般財源を伴うため、費用面だけでなく、人員面や効率的な業務管理が必要で、本町文化財保護委員会への諮問答申を受けて調査実施となる。当面はこれまでの調査結果をしっかりと周知し、調査対象と人員確保は今後の課題としたい。

## 《歳入全般》

**質問** 臨時財政対策債や特別交付税を含め地方交付税30億2118万6千円は過去最高。地方債の交付税算入と今後の動向は。

**答弁** 地方債の交付税算入は4年度4億7964万8千円、5年度4億7312万7千円で、今後減少傾向と見ている。6年度の総務省の概算要求で地方交付税が前年度比1・1%の伸びと出ていたが、基準財政収入額が思っているほど伸びていないことに對し、需要額が地域のデジタル社会推進費や地域社会再生事業費で一定額上がっており、これらは7年度までの限定的なもの、臨時財政対策債は目減りしてくるため慎重な見極めが必要。

**質問** 住宅使用料等の現年度

の調定額1901万7千円に対し1・5倍の滞納繰越があり、徐々に増えている。全庁的な取り組みの方向性は。

**答弁** 滞納処分事務処理要綱に基づき督促等を行い、最終的には退去処分となるが、現実には生活困窮により支払いが厳しく、分納誓約をしても支払える状況にないことが多い。不納欠損しても法的には債権が残るため、同時に債権放棄して債権を消す必要があるが、条例等に債権管理規定がなく、私債権の住宅使用料を整理できなかった。取りようがない債権は整理する必要がある、明確な基準がなければ債権放棄できないので、現在、収納対策会議で債権管理規定を研究している。

## 反対討論

ウォーターパーク存続や再開の声にこたえず、一方的な態度をとり続けた。町をよくするためには住民や職員の声をよく聞き、知恵を十分に発揮し、働きがいのある職場にすることが基本という観点に立ち、今の町政の在り方を考え直していただきたい。また、緊急財政健全化計画は効果がないと言わないが、国

の財政出動、起債の借換えや繰上償還の中で数億円改善できた。住民に負担を求めず財政健全化すると言いつながら、ウォーターパーク廃止が負担を強いた点、職員のモチベーションを下げるような4%という莫大な給与カットを改善しない点で間違っていると指摘して決算に反対する。

## 賛成討論

財政健全化を着々と進めており、近い将来の中学校大規模改修、新庁舎建設、清掃センター改修等に備え、決算に反対する理由がない。

また、自主財源2・2%増、依存財源12・2%減となったことは評価する。実質公債費比率14・4%で1・6%改善、将来負担比率156・7%で26・6%改善したが、経常収支比率0・6ポイント増の90・5%とまだまだ要治療状態のため、緊縮財政維持が必要な状況を町民に理解いただき、人が輝き、未来が輝く、夢あふれる町になることを願い、決算に賛成する。



## 令和4年度 一般会計・特別会計決算

(単位：円)

| 会計区分 |              | 歳入総額          | 歳出総額          | 歳入歳出差引額     | 翌年度へ繰り越す財源 | 実質収支額       |
|------|--------------|---------------|---------------|-------------|------------|-------------|
| 一般会計 |              | 7,704,623,264 | 7,291,819,272 | 412,803,992 | 54,365,000 | 358,438,992 |
| 特別会計 | 住宅新築資金等貸付事業  | 16,392,674    | 1,002,877     | 15,389,797  | —          | 15,389,797  |
|      | 国民健康保険       | 2,645,685,435 | 2,463,139,866 | 182,545,569 | —          | 182,545,569 |
|      | 農業集落排水事業     | 32,869,921    | 32,869,921    | 0           | —          | 0           |
|      | 学校給食費        | 66,403,142    | 63,753,004    | 2,650,138   | —          | 2,650,138   |
|      | 介護保険（保険事業勘定） | 2,041,088,810 | 2,041,088,110 | 700         | —          | 700         |
|      | 奨学資金貸付事業     | 21,000        | 21,000        | 0           | —          | 0           |
|      | 後期高齢者医療      | 489,703,467   | 489,224,167   | 479,300     | —          | 479,300     |
|      | 用地先行取得事業     | 13,427,657    | 13,427,657    | 0           | —          | 0           |

## 住宅新築資金等

## 貸付事業特別会計

**質問** 資金を借りた方が亡くなったときの対応は。

**答弁** 相続人を調査し、債権を請求する。相続人不在案件は相続財産管理人を立てて請求し、競売の措置を行う。死亡に伴い、町が競売を申し立てた事例はない。

## 国民健康保険

## 特別会計

**質問** 県算定の納付額に見合う国保料率にすると収支バランスが取れることになっている中、5年間で1億8162万2千円の赤字になった要因は。

**答弁** 税収入や各補助金交付金を歳入、納付金や保険給付費、保険事業費等を歳出として会計を運営している。税収入から納付金を納めた残額で町単事業やその他の事業に支出しており、そのバランスの結果がそれぞれの年度で出てきたため。

**質問** 不納欠損や未収の方の

健康保険証配付は。

**答弁** 保険証更新時期に通知を送り、窓口での納付相談等につなげ、納付を開始された方には短期証を交付している。

## 農業集落排水事業特別会計

**質問** 施設老朽化により今後の検討が必要。町の考えは。

**答弁** 以前に下水道へ接続すると事業費約2億円と試算している。その後に新しく検討した具体的なものはないが、今の施設をできるだけ費用のかからないよう維持することを検討していく。

## 学校給食費特別会計

**質問** 物価高騰により苦労して運営していただいている。努力されたことは。

**答弁** 新型コロナウイルスの地方創生交付金を一般会計より繰入れて黒字決算となったが、現在も物価高騰が続き、非常に

厳しい状況。今後も献立や調理を工夫し、質や量を落とさず、限られた予算の中で最大限努力したい。

**質問** 物価高騰が続く中、給食費改定の考えはあるか。

**答弁** 給食費値上げは極力したくない。できる限り努力し、どうしても厳しい時が来たら、学校給食センター運営協議会や議会に諮ることが場合によっては出てくると考えている。

**質問** 給食は誰もが食べられる観点より、給食費無料化が広がっている。検討しては。

**答弁** 子育て世代の支援策として大変有効だが、財政状況もあり、現在国で検討されていると聞いているので動向を注視したい。

次頁へ続く



## 水道業務実績

|         | 単位             | 令和4年度     | 令和3年度     | 比 較      |
|---------|----------------|-----------|-----------|----------|
| 給 水 件 数 | 件              | 8,190     | 8,145     | 45       |
| 年間総配水量  | m <sup>3</sup> | 2,215,104 | 2,282,271 | △ 67,167 |
| 年間有収水量  | m <sup>3</sup> | 1,857,718 | 1,882,046 | △ 24,328 |
| 有 収 率   | %              | 83.9      | 82.4      | 1.5      |

※有収率…料金収入を得た割合(年間有収水量/年間総配水量×100)

## 水道決算状況(税込)

(△はマイナス、単位:円)

|       |    | 令和4年度         | 令和3年度        | 差 引           |
|-------|----|---------------|--------------|---------------|
| 収益的収支 | 収入 | 2,105,041,487 | 491,846,886  | 1,613,194,601 |
|       | 支出 | 2,079,789,152 | 492,155,509  | 1,587,633,643 |
|       | 差引 | 25,252,335    | △ 308,623    | 25,560,958    |
| 資本的収支 | 収入 | 8,382,000     | 8,230,000    | 152,000       |
|       | 支出 | 46,990,789    | 36,153,516   | 10,837,273    |
|       | 差引 | △ 38,608,789  | △ 27,923,516 | △ 10,685,273  |

## 下水道業務実績

|           | 単位             | 令和4年度     | 令和3年度     | 比 較     |
|-----------|----------------|-----------|-----------|---------|
| 処理区域面積    | ha             | 203.55    | 193.49    | 10.06   |
| 行政区内人口    | 人              | 18,340    | 18,561    | △ 221   |
| 処理区域内人口   | 人              | 11,032    | 10,682    | 350     |
| 普 及 率     | %              | 60.2      | 57.6      | 2.6     |
| 水 洗 化 人 口 | 人              | 10,310    | 10,034    | 276     |
| 水 洗 化 率   | %              | 93.5      | 93.9      | △ 0.4   |
| 年間有収水量    | m <sup>3</sup> | 1,255,479 | 1,055,660 | 199,819 |

※普及率…(処理区域内人口/行政区内人口×100)

※水洗化率…(水洗化人口/処理区域内人口×100)

## 下水道決算状況(税込)

(△はマイナス、単位:円)

|       |    | 令和4年度         | 令和3年度         | 差 引         |
|-------|----|---------------|---------------|-------------|
| 収益的収支 | 収入 | 477,324,896   | 448,766,937   | 28,557,959  |
|       | 支出 | 386,967,236   | 384,142,449   | 2,824,787   |
|       | 差引 | 90,357,660    | 64,624,488    | 25,733,172  |
| 資本的収支 | 収入 | 123,608,000   | 127,177,100   | △ 3,569,100 |
|       | 支出 | 247,201,607   | 248,680,940   | △ 1,479,333 |
|       | 差引 | △ 123,593,607 | △ 121,503,840 | △ 2,089,767 |

**質問** 地元野菜の使用率が3年度8・9%に対し、4年度8・2%。今後の見通しは。

**答弁** 8農家に納品をお願いしているが、大規模農家が少なく、高齢化や天候不順等で決まった量を仕入れられなかった。これからもいろんな農家に出向き、農業振興協議会と連携を図り、多くの地元野菜を取り入れられるように努力したい。

## 介護保険 特別会計

**質問** 6年度からの第9期で基金約2億円を保険料軽減に充て、大きな引上げにならないよう努めてほしい。町の考えは。

**答弁** 5年度給付実績の推移を踏まえ、第8期終了時の基金残高を見込み、策定委員会で第9期全体の基金取崩しを検討したい。

**質問** デマンドタクシーは多くの方に重宝され、行き先拡大の希望が多く、介護保険で限界にきている。需要が大きくなる中、一般財源繰入れや今後の見通しは。

**答弁** 高齢者の外出支援として実証運行中で、6年度から本格運行となる。保健福祉事業は第1号被保険者の保険料で賄われ、利用は高齢者限定のため、一般財源繰入れには慎重な検討が必要。

## 後期高齢者 医療特別会計

**質問** 2年に1回保険料が見直しされる。6年度からの保険料について、広域連合でどのような議論が行われているか。

**答弁** 国から試算の基となる算定システムが広域連合に届いていないため、まだ議論はされていない。例年は見直し前年度9月中旬に通知が来ると聞いている。

## 反対討論

この制度は平成20年度から都道府県単位・全市町村参加の広域連合として運営され、一方的に保険料等が決定されるのが現状。本町予算も決められたとおり積算されたもので、裁量権がないに等しい。保険料見直しの

たびに引き上げられ、4年4月からの保険料も5%以上の引き上げとなった。75歳以上の加入者の代弁者として、理不尽な制度に対する抗議も込めて決算に反対する。

## 賛成討論

75歳以上を対象に独立した医療制度として創設され、高齢者と現役の負担を明確にし、安定的に運営されてきた。広域連合と市町村が連携し、健康維持やフレイル予防を国民健康保険の保健事業や介護予防と一体的に実施できることから、各市町村に裁量権がないとはいえない。安心して医療が受けられ、健康的な生活が送れていると判断し、決算に賛成する。

## 水道事業会計

**質問** 有収率が10年前は90%を切ったことがなかったが、3年度は3力所から大きな漏水があり82・4%、4年度は83・9%とかなり低い。4年度の原因は。

**答弁** 老朽管のどこかでの漏水が多いと考えている。県域水

道一体化に向けて剰余金を減らしたくないこともあり、大規模な漏水調査ができておらず、目に見える漏水を順次直している状況で、有収率の改善につながっていないが、県域水道一体化になってから老朽管をやり替えていくことで改善すると考えている。

## 下水道事業会計

**質問** 未収額について、過去の未徴収を見過ごしていた件も含めて現在の状況は。

**答弁** 企業会計であるため、現年度の未収額は2年度1320万670円、3年度800万8581円、4年度2852万5107円が決算の数字になる。下水道料金は上水道料金と一括収納して下水道会計に振り込む形のため、入金までにタイムラグが生じ、1年後で見ると2年度約7万7千円、3年度約35万円に下がる。3年度は過去の未徴収が判明した約25万円が含まれており、それを除いた実質的な未収額は約10万円。また、過去の未徴収分6件については、未請求合計259万3408円のうち、時効になっていない1

39万1774円の中で全額納付済の方は2名。残り4件は毎月分納で、現在の収納額合計76万8423円。残額62万3351円のうち3件は5年度中、1件は7年3月に完納予定。4年度の未収額が大きいのは、調定月を4年度から上水道と同様に2力月間延長したことにより、2力月間の下水道使用料がそのまま未収金となっているため。

## 奨学資金貸付 事業特別会計 用地先行取得 事業特別会計

以上、11件の一般会計・特別会計・事業会計については認定することに決しました。

決算審査特別委員会

委員長 長良 俊一



# 町政を問う！ 一般質問一覧

|      |                                                                                                       |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 稲月議員 | ※体調不良による欠席のため一般質問は行われませんでした。                                                                          |
| 森田議員 | 1. 若井地区等の資機材置場、遊休土地を整理して早急に売却を<br>2. 榑原メガソーラー建設工事の推進状況について<br>3. 公共下水道事業について                          |
| 馬本議員 | 1. デマンドタクシー運行状況と今後の取り組みについて<br>2. 矢田山（仮称）東西線建設について<br>3. 平群町公共施設等総合管理計画について<br>4. 新西和医療センター移転・再整備について |
| 須藤議員 | ※体調不良による欠席のため一般質問は行われませんでした。                                                                          |
| 岩崎議員 | 1. 地震災害の備えについて<br>2. 豪雨災害の備えについて<br>3. 文化センターにカフェを置いてみては                                              |
| 長良議員 | 1. 新時代の学びに対応した教育環境を<br>2. 社会体育事業について<br>3. これからのまちづくり                                                 |
| 植田議員 | 1. 特別障害者手当制度の周知徹底を<br>2. 子育てや介護世帯へのごみ袋支給制度の改善を<br>3. まずは、第3子以降の学校給食費無償化を<br>4. パートナースhip制度の導入を        |
| 関 議員 | 1. 医療用ウィッグなどの購入費助成を<br>2. 投票支援カードの導入について                                                              |
| 山口議員 | 1. 虚偽説明で廃止を決めたウォーターパークは存続を<br>2. 完了届が出されていない既存住宅の問題解決を<br>3. 空き家の環境保全対策について                           |
| 山本議員 | 1. どんぐり広場にレジャープールの設置を                                                                                 |

## 人権擁護委員 候補者の推せん

中村 高士 氏

住所 平群町梨本

中村高士氏は適任であるとの意見で答申することに決しました。



## 議員提出議案

**平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について**

**（発議第5号）**

提出者 長良俊一

賛成者 関 順子、岩崎真滋

森田 勝、馬本隆夫（否決）

**平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について**

**（発議第6号）**

提出者 井戸太郎

賛成者 山本隆史

（否決）

発議第5号は「議員報酬を15%削減」、発議第6号は「議員報酬を5%削減」という条例改正（案）でしたが、ともに否決されました。

（議決結果賛否一覧はp2参照）



☆詳しくはこちらから

**「健康保険証」の継続を求める意見書（案）**

提出者 稲月敏子

賛成者 須藤啓二、植田いずみ

山口昌亮

（否決）

# 若井地区の遊休地を整理して 早期に売却を



森田 勝

## 質問



若井地区の区域を整備するため、町土地開発公社が先行取得した土地、町が直接取得した土地がある。それらの土地の一部は地元建設会社に資機材置場として無償貸与しているものや、中央公園臨時駐車場として使っているものがあるが、本来の目的外に使っている土地である。これらの土地は、公図が整理されておらず、現状と対比すると、宅地上に道路があつたり、逆に道路上に宅地があつたりするので、公図を整備した上、早急に売却して町財政に貢献すべきと考える。

なお、当該地に旧人権交流センター、旧若葉湯を加えると、11660㎡となり、仮に㎡当たり1万



## 答弁

円で売却すると1億1660万円町に入る。また町に毎年固定資産税が入り、また草刈り等の維持管理が不要になる。

そこで、質問する。

①目的外、遊休化している土地は、町の資料では9400㎡だが

②資機材置場に無償貸与土地について

①7箇所、約9400㎡（公簿）

②無償8箇所（7人）、約1470㎡、他に有償1箇所。近隣の他自治体では無償貸与の事例はない。

# 新西和医療センター 移転・再整備について



馬本 隆夫



## 質問

県は新西和医療センター移転地をJR王寺駅南側として、今年の3月に整備基本計画素案が策定されました。その後、奈良県知事選挙が行われ、山下真知事が就任、新西和医療センターの移転・再整備は、王寺駅南側に加え、他の候補地も含めて協議する方針を決定。7月12日には7町の意見交換会が開催された。

①県に平群町は移転候補地の情報提供したのか。



## 答弁

新西和医療センターの誘致は、住民にとつて安心と発展を得る大きなチャンスであると思います。この機会を逃さぬよう、町

①平群町は2か所の候補地を提供。

②西和7町では平群町2か所を含む9か所の候補地が情報提供された。

③令和5年度中には結論が出ると思っています。

④平群町が適地と判断された際は、組織一丸となつて事業の協力体制を構築する。県と連携を図り、町長として全力で取り組んでまいります。

②近隣町の動向は。

③移転の候補地決定の期限はいつ頃なのか。

④今後の取り組みは。

と議会が一丸となつて誘致を実現させることが、我々の使命であると私は一議員として考えます。

# 地震災害の備えについて



岩崎 真滋



## 質問

関東大震災の発生から100年を迎えました。約10万5千人の犠牲者のうち9割が大規模火災が原因と言われています。

今後、30年以内の発生確率が70〜80%と想定されている南海トラフ地震にも備えなければなりません。しかしながら、その地域防災を支える消防団員が減少しています。



## 答弁

平群町におきましても、定員割れが生じていることで消火活動や救助活動に支障を来すことが考えられます。町のお考えをお聞かせください。

平群町消防団は、地震災害や風水害など災害発生時には、地域の防災力の中核として欠かすことのできない組織となっております。

大規模災害に備え、消防団員の増加に向けての取組みについては、広報誌による呼びかけや公共施設でのポスターの掲示を行うとともに、消防団員自ら地域住民に対し入団の働きかけを行っております。

令和5年4月現在、団員数は定数74名に対し66名で、8名の欠員となっております。8月には3名の消防団員の加入が予定されています。

# 社会体育事業について



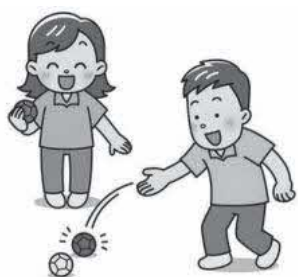
長良 俊一



## 質問

本町は、生涯学習・スポーツ、文化など、多様な社会教育事業を展開しています。近年は、新型コロナウイルスの影響で、行事、イベントが中止となりましたが、状況に合わせて徐々に実施できるようになってきました。

しかしながら町民運動会やマラソン大会も開催されなくなり、本町のスポーツの在り方も変化し始めたのかと感じます。



住民ひとり1スポーツを目指し、誰もが気軽に参加できる軽スポーツを推進するとありますが、どの様に展開していく予定かをお聞かせください。

## 答弁

住民ひとり1スポーツをめざす当町としても軽スポーツの魅力に着目し、町の大会として多くの種目を開催しています。町スポーツ協会と連携し、「軽スポーツデー」を新たなイベントとして開催致しました。

本年も計画をしており多くの住民の皆さんに楽しんで頂きながらスポーツに取り組んで頂くよう努めて参ります。

今後町内の関係団体と連携を密にし、地域の方が気楽に参加でき、スポーツの振興や、住民の健康増進の一助等となるような社会体育事業の実施を進めてまいります。

# パートナーシップ制度の導入を



植田 いずみ



## 質問

性的マイノリティのパートナー関係を自治体が認証して、医療や住宅などの困りごとを軽減する「パートナーシップ制度」を導入する自治体が広がっています。全国的には14都府県、338自治体で導入され人口の7割をカバーするまでになっています。奈良県でも県内39市区町村の



## 答弁

うち5市1町(奈良市・大和郡山市・生駒市・大里市・五條市・斑鳩町)が導入しており、県内人口の約51%と半数を超えています。誰もが自分らしく生きられる社会を保障していく第一歩としてぜひ平群町でもパートナーシップ制度を導入していくべきだと考えます。

パートナーシップ制度は、同性による婚姻については、法制度が整備されていない代わりに、戸籍上同性であるカップルに対して、地方自治体が婚姻に相当する関係であると認める制度です。導入については、性の多様性を認め合い、性的マイノリティを理解し、パートナーとして実際に公的サービスや民間サービスを含め何が出来るか検討の必要があると考える。他の自治体の導入事例も参考に前向きに調査研究したい。

# 医療用ウィッグなどの購入費助成を



関 順子



## 質問

人生百年時代、高齢化が進み、避けて通れない病気のひとつに生涯で日本人の2人に1人が、かかると言われるのが「がん」であります。日本人の死亡原因の1位を占め国民病とも言われています。

また、辛い抗がん剤治療を乗り越えても、脱毛や乳房摘出など外見の変化で新たな苦痛を感じる方も多く、その苦痛を少しでも軽減するために、いわゆる「アピアランスケ

ア」と言いますが、ウィッグや乳房補整具を購入する際、その費用が高額で躊躇される方も少なくないです。

令和5年度奈良県において「奈良県がんとの共生に向けたアピアランスケア支援事業」が始まり医療用ウィッグ、乳房補整具の補助額が1人につき1万円、町が補助すれば計2万円となります。県内でも実施する自治体が増加しております。

## 答弁

がん患者の皆様の治療と就労、社会参加を応援し、療養生活の質の向上維持を図るため、実施要項を作成し、令和6年度の実施に向けて予算の確保に努めて参りたい。



# 虚偽説明で廃止した ウォーターパーク存続を



山口 昌亮



## 質問

①緊急財政健全化計画（素案）策定の直後にその計画の前提となる財政シミュレーションが3億5千万円も好転。その時点でウォーターパーク閉鎖の方針を見直さなかつたのはなぜか。

②ウォーターパークは誰の財産か。価値は。

③計画素案から10カ月という早さで廃止議案を提出。住民への説明責任は果たしたのか。



## 答弁

①財政状況の指標で県内ワースト1があり、財政が好転したとは考えていない。見直さなかつたのは多額の運営費や利用者が減少しているから。

②住民の財産。一部財産価値がある。

③廃止議案提出は①の答弁の提案理由があつたため。説明責任は果たされたと考えている。

④「5億4千万円」から新たに精査した結果、数字に差異が生じた。この間の経過については、年度内に住民に説明できるようにする。

④「修繕費5億4千万円」がまったく根拠がなかつたことや、その後の新たな「修繕費3億7千万円（概算）」について、昨年12月議会で私に約束した、この間の経過も含めた住民への説明をきちんとすべきだ。

# どんぐり広場にレジャー プールの設置を



山本 隆史



## 質問

学校・公営プールの環境は、この20年ほどで大きく変化してきました。

全国的に減少傾向にあるプール環境のなか、本町も令和3年12月議会でもウォーターパークの廃止を決定しました。

猛暑日のなか、公園等で遊ぶことが危険な状態で、子供たちのストレスが発散できなくなることは、精神的・身体的にも悪影響を及ぼす可能性があります。



そこで、夏休みの一定期間、子ども達の遊び場として、どんぐり広場にレジャープールを設置してみてもどうか、提案します。

## 答弁

公的機関が公共施設を使用して実施する場合、必要な法令等の基準をクリアし、利用者が万が一の事故、ケガなどの未然防止の安全対策には十二分に措置を講じ、実施体制と責任体制を明確にしておく必要があると考えます。

その他、水質検査などの衛生管理面の課題、広場での熱中症対策、水道料金などの費用面も含めた様々な課題をクリアする必要があります。

以上のことを踏まえ、レジャープールの設置が可能かどうか、検討課題としてまいります。

## 町 の 話 題

### 第1回へぐり花火大会2023 「来年も開催します!」



撮影:中島雅彰氏

子どもも大人も、みんなが楽しむことができる人と人の交流の場を。そして、平群町の活性化につなげたいと、9月9日開催された第1回へぐり花火大会2023。当日の参加者は約7千人（主催者発表）と大盛況でした。

イベントステージのほか98店舗が出店したグルメや縁日ブースの会場となった総合スポーツセンターグラウンドには午後3時の開会前から多くの人々が来場し、健民グラウンドなど用意された駐車場は満車に

なり、駐車場と平群駅からのシャトルバスも5台がフル稼働となるほどでした。

メインの花火は、夜8時から20分間、400発が打ち上げられ、町内各地で多くのみなさんが夜空を彩った光の祭典を見ることができました。

花火大会は、「子どもたちの外で遊ぶイメージがなくなっている」「子どもたちが喜ぶイベントを」と、3年前に奈良市から転居してきた已波裕さん（同大会実行委員長）が同大会を主催した平群町商工会青年部メンバー（30～40代）に提案し、平群盛り上げ隊やmayumi projectなどの協力を得て6月に実行委員会を結成。町行政や消防署など関係機関の協力も得ました。

参加のみなさんからの感謝と「来年もぜひ」との声を受けて、已波さんと青年部長の中島雅彰さんは「子どもたちが喜ぶイベントという目的を、大きなトラブルもなく達成でき、次につながる事が一番よかった。来年も開催します」と力強く語っています。

山口 記



稲月 記

私たちは自身も今夏の異常な暑さや大雨が降る度に「それ、あたって」と、実感されているのではないのでしょうか？地方自治体としてやらなければならないことに向き合い真剣な議論の開始が必要だと実感した9月議会でした。

よつやく史上最も暑い夏が終わり、厳しい残暑を乗り越え、短い秋を満喫されておられるでしょうか？世界的には恐ろしい山火事が襲い、多くの犠牲者が出たハワイやオーストラリア、海水温の上昇で台風は大型化、大雨で大洪水、こんなニュースが次々報道され、国連グテーレス事務総長は7月23日に「地球温暖化の時代は終わった。地球沸騰化の時代が到来した」と発言しました。

## 議会報告会を開催します

### お知らせ

**\*11月18日(土)午前10時から正午**  
**\*平群町総合文化センター**  
**くまがしホール**

住民のみなさんに議会の活動状況をよりわかりやすくお知らせするために、議会報告会を開催します。

が、今年度は上記の日程で、報告会を行います。報告の内容は、昨年度決算など9月定例会の審議内容と先進地視察研修についてです。

また、みなさんからの質問に答えるとともに、ご意見をお聞かせください。

ご参加をお待ちしています。